

# 円泉寺通信

## 清水章吾氏来山



俳優の清水章吾さんが雑誌の対談のために四月二日円泉寺にられました。いろいろなお話しを致しましたが、清水さんご本人のこともたくさんお話しいただきました。

赤面恐怖症だったこと（私もそうでした）、若いときは、主役を演じたこともあるが自ら悪役を志望した

こと、身振り手振り声色で仲間の役者さんのお話しをするなど、映像では見られない信念、気さくさ、おもしろさを感じました。

特に奥様がぜんそくのため埼玉県（旧妻沼町・旧児玉町）に住居を移したと、都内の撮影で遅くなっても必ず自分で運転をして自宅に帰っているなど、ご家族に対する深い愛情と思いやりを感じました。

ただ残念なことに、近年体力の衰えを感じ、仕事をセーブしているそうです。いつまでも一線でご活躍されますようご期待しております。



## 対談の一部

平成21年特別号  
飯能市平松376  
発行 円泉寺  
編集 諸井政昭  
電話042-973-5716  
FAX042-972-8834  
http://www.ensenji.or.jp



戒名説明書

清水 初めてめて耳にしますが、「戒名説明書」とはどのようなものなのか。諸井 葬儀屋さんも「初めて見た」とおっしゃるほどで、おそらく当寺だけしか取り組んでいないことだと思えます。世代が若返るにつれて寺や法事についてあまりご存じない方も増え、特に戒名などは何となく受け入れているだけで、その

意味まできちんと理解している方はほとんどおられないと思います。 〈中略〉

私は以前から戒名を考えるに当たって故人に思いを馳せながら、存じ上げない方の場合は生前の暮らしぶりや人となりをいろいろ伺うようにし、その方を表しつつ来世にどのような場所でのどのようなお姿なのかまで戒名に込め一生懸命文字を選んでまいりました。 〈中略〉 大変評判が良かったのですね。故人を偲ぶ気持ちで戒名を理解することで更に高まったのだと思います。

清水 なるほど。すばらしいアイデアだと思います。では、若い世代になるとお墓の問題もあるのではないのでしょうか。諸井 おっしゃる通りで、 〈中略〉

そこで堂内にお骨をお預かりして永代に供養・管理するシステムが今非常に盛んになっており、当寺でも永代供養塔が、

完成致しました。 〈中略〉



ええ、多くの方に「ここだったら入りたい」と思っただけで頂けるよう、もし自分が入るならどんな場所がよいだろうかといろいろ考えました。お陰様で良いご縁に恵まれ、立派な永代供養塔と成りました。 〈中略〉

清水 現代のお寺の役割を改めて考えさせられました。これからも新しい考え方を取り入れた積極的な活動を展開してください。

